

## 平成31年度事業計画

### 1 はじめに

昨年度は、北海道命名150年、開陽丸沈没150年の節目の年を迎えたことから北海道150年事業を展開しましたが、ゴールデンウィーク期間中の天候不順、9月6日の北海道胆振東部地震など自然現象に影響を受けた1年となり、入館者数の見込みは1万7千人弱で前年比1,700人、10%の減となる見込みです。内容は、5月と9月の入館者数が対前年実数で1,690人の減少と大きく影響を受けたことが伺われます。団体入館者数は対前年17.9%の減少で個人入館者の2倍弱となっており、旅行形態が年々個人旅行に移っていることが伺われます。

函館市の平成30年度上期における観光入込客数を見ますと、約325万1千人で前年同期との比較では約13万1千人3.9%の減少となり、江差町と同じく震災の影響を大きく受け9月は14万7千人の減少となりました。函館管内の交通機関別観光入込客数を見ますとバス・鉄道・乗用車で81.1%を占め陸路からの入込客が大勢を占めている状況が伺われます。このように、函館市の観光情勢が江差町の観光入込に大きく影響している実情にあり今後も動向を注視していく必要があります。

今年度は、旧幕府軍と新政府軍による戊辰戦争の終結から150周年を迎えることから、箱館五稜郭祭実行委員会が中心となり道南の官民が広域連携で取り組む「ものふみなみ北海道最後の武士達の物語」事業に参画し、開陽丸沈没地をPRし得られる効果と開陽丸沈没150年記念事業の継続効果で入館者の集客に努めて参ります。

また、町内関係機関と連携した首都圏誘致活動は観光事業者にも認知されてきており、今後は、新たに江差町の観光を推進する組織「北海道江差観光みらい機構」とも連携し魅力ある江差観光のPRを推進すべく取り組みを継続してまいります。

さらに、財団が設置・管理している地域交流施設（えさし海の駅）と資料展示施設（開陽丸記念館）は築29年目を迎え経年劣化が顕著であり早期の改修が大きな課題であります。今年度は、改修に向けた議論ができるよう取り組んで参ります。

こうした状況を踏まえ、財団の安定的な運営を図るため職員上げて経営改善と入館者確保対策に取り組んでまいります。

## 2 事業の概要

### (1) 経営方針

#### ① 入館者対策について

今年度は、戊辰戦争終結150周年の節目の年であり財団のPR事業はもとより、箱館五稜郭祭実行委員会が広域連携で実施計画している事業に参画するなど集客に努め総入館者数を19,000人と見込みます。

#### <入館者対策>

- ・ 戊辰戦争終結150周年記念事業に参画し事業効果による集客に努める。
- ・ 函館市内及び道南地域の観光施設等との連携による集客に努める。
- ・ 開陽丸沈没150年記念事業の継続効果による集客に努める。
- ・ 町内関係団体と連携した首都圏誘致宣伝行動を実施し集客に努める。
- ・ 町内旅館業者に割引券の配布及び渡島桧山管内の道の駅にパンフレット等を配布し集客に努める。
- ・ SNSを活用し情報の発信による集客に努める。
- ・ 無料ガイドのPRによる開陽丸記念館の魅力向上に努める。(HP発信)
- ・ オプショナルツアーが主流であるが、ツアー観光客の入館誘導に努める。
- ・ 各種割引制度の拡充による入館者の確保に努める。
- ・ 遺物の展示等について、点検を行いながら効果的な配置に努める。

#### 【小中学生の研修旅行】

- ・ 函館市内等入館実績のある中学校に対し礼状送付と研修入館継続の案内による集客確保に努める。
- ・ 渡島桧山管内の入館実績のない中学校に対し研修入館の誘致に努める。
- ・ 青森市内小学校に対して研修入館の礼状送付と誘致に努める。
- ・ 学校研修事業企画旅行事業者に対し研修入館の誘致宣伝の実施を検討する。

#### 【情報発信の取り組み】

- ・ 写真資料、映像資料等の無料提供
- ・ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等を活用した情報発信と取材協力

## ② えさし海の駅の活用について

- ・ 「江差町観光情報総合案内所」はDMO組織に移行されますが、引き続き連携した窓口対応をこれまで通り行うこととし、観光客等に対するサービスの向上に引き続き努め、江差旅を楽しんでいただき「また来たい」と思われるような海の駅を目指します。
- ・ 観光バリアフリーレジャー用品等貸出事業は4月から有料化で実施します。
- ・ 図録等の販売については、「ぷらっと江差」に引き続き販売委託します。

## ③ 開陽丸子孫の会との連携協力について

戊辰戦争終結150周年の節目の年であることから、開陽丸子孫の会（会長榎本隆充氏）と連携して記念事業が実施できないか協議検討してまいります。

## (2) 青少年研修事業等の推進について

- ① 春と夏の研修事業
- |        |                   |
|--------|-------------------|
| ・ 事業名  | 「クイズで知ろう！開陽丸」（有料） |
| ・ 対象   | 小・中学生             |
| ・ 実施時期 | GWと夏休み期間          |
| ・ 内容   | クイズと記念品           |

## (3) マリーナ指定管理業務

- ・ 江差港マリーナ指定管理業務の更新（期間：H31.4.1～H35.3.31）
- ・ 江差港マリーナの管理・運營業務（浮棧橋・ボートリフター等）
- ・ 周辺施設の管理・運營業務（徒渉池、遊漁池・緑地草刈り等）
- ・ ヨット競技大会及びマリインフェスタ事業等への連携協力
- ・ マリンスポーツ交流センター事業に係る業務

## (4) 開陽丸友の会との連携

- ・ 友の会開催事業と連携し戊辰戦争終結150周年記念事業を実施する。
- ・ 21世紀新聞のホームページ活用（第23号の発行協力）
- ・ 友の会運営への連携協力（H28年度から事務局会計事務を補佐）

(5) 北海道内美術館との広域連携

- ・アートギャラリー北海道との連携（関連事業参加登録）継続
- ・北海道立函館美術館との相互連携 継続
- ・道南地域連携施設間の相互割引「どうなんアートリンク」をスタート

(6) その他

① 施設改修等

- ・キュービクル変圧器及び高圧コンデンサPCB分析
- ・電気室自家発電機蓄電池取替（4台）
- ・暖房機設備部品取替（5か所）

② 今後の理事会及び評議員会日程について、次のとおり予定します。

<今後の会議日程（予定）>

1 監事監査	平成31年 4月25日（木）午前10時
2 第1回理事会	平成31年 5月16日（木）午前11時
3 定時評議員会	平成31年 5月30日（木）午前11時